

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会  
2023 年度 第 1 回定例理事会議事録要旨

日 時：2023 年 1 月 22 日（日）13：00～16：30

場 所：ステーションコンファレンス東京 605 A+B+C ルーム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1 丁目 7-12 サピアタワー 6 階

現地出席：理 事 長：比企直樹

監 事：花崎和弘

特任顧問：平田公一

理 事：飯島正平、石井良昌、大石英人、尾花和子、小谷穰治、小山 諭

斎藤恵子、佐々木雅也、清水孝宏、高増哲也、千葉正博、鍋谷圭宏

三原千恵、名徳倫明、森みさ子、鷺澤尚宏

事務局幹事：櫻谷美貴子、新原正大

公認会計士：河村真由美

ZOOM 出席：副理事長：福島亮治

監 事：倉田なおみ、田妻 進、土岐祐一郎

理 事：犬飼道雄、遠藤陽子、鈴木 裕、中瀬 一、室井延之、山中英治

欠 席 者：特任顧問：平井敏弘

記 録：瀧田実隆（事務局）

（敬称略：五十音順）

議 題：

I. 理事長挨拶

定款第 5 章第 28 条に則り、2023 年度第 1 回定例理事会の開催が宣言された。議長は理事長が務め、議事録署名は定款第 33 条に則り理事長と出席した監事（倉田なおみ、田妻 進、土岐祐一郎、花崎和弘 各監事）となることが確認された。

II. 庶務報告について

- ・2022 年 11 月 30 日時点の会員動向について、昨対で 1,044 名の会員数増加があったことが報告された。
- ・比企理事長より逝去会員の報告がされ、黙祷が捧げられた。
- ・2022 年度事業報告および 2023 年度事業計画が提出され、全会一致で承認された。

■2022 年 11 月 30 日現在 ※宛先不明 11 名含む

会員種別	2021 年 11 月 30 日	2022 年 11 月 30 日	増減
名誉会長	2 名	2 名	±0 名
名誉会員	43 名	43 名	+2 名
特別会員	64 名	70 名	+6 名
代議員	248 名	252 名	+4 名
学術評議員（代議員は除	494 名	508 名	+14 名

正会員	21,417名	22,435名	+1,018名
寄贈会員	8名	8名	±0名
総数	22,276名	23,318名	+1,044名

■職種別

医師	4,738名	管理栄養士	6,724名	言語聴覚士	620名
歯科医師	441名	栄養士	37名	歯科衛生士	121名
看護師	4,161名	臨床検査技師	624名	診療放射線技師	3名
准看護師	1名	理学療法士	498名	その他*	563名
薬剤師	4,647名	作業療法士	140名	合計	23,318名

■2022年度分会費納入率 ※宛先不明・退会・自動退会含む

会員種別	納入者数	未納者数	納入率(2021年度)
代議員	252名	1名	99.6% (100%)
学術評議員	508名	8名	98.4% (99.4%)
正会員	22,435名	1,432名	93.6% (96.9%)
総数	23,195名	1,441名	93.8%

物故会員（敬称略）

名誉会員 奥井 勝二（令和3年12月 ご逝去）

名誉会員 大熊 利忠（令和4年10月 ご逝去）

名誉会員 武藤 輝一（令和4年11月 ご逝去）

Ⅲ. 会計関連事項について

尾花財務委員長より、2022年度会計収支の説明がされ承認された。続けて、河村公認会計士より独立監査の監査報告、田妻監事より一連の監査報告がなされた。また、2023年度一般会計・特別会計・各委員会の予算書（案）の説明がされ、全会一致で承認された。

Ⅳ. 第41回学術集会会長 選出

第41回（次々々回）学術集会会長に、鈴木裕理事が立候補され、選出された。

Ⅴ. 第38回学術集会会長 挨拶（小谷会長）

小谷会長より開催概要と準備状況について報告がされた。

Ⅵ. 第39回（次回）学術集会会長 挨拶（鷺澤会長）

鷺澤会長より開催概要と準備状況について報告がされた。

Ⅶ. 学会名称候補について

福島副理事長より学会名称候補が、和名「日本栄養治療学会」、英名「Japanese Society for Parenteral and Enteral Nutrition Therapy」の方向で進んでいることが報告された。なお同議案は第10回定時社員総会にスケジュールも含め提出し、代議員に諮ることが確認された。

## VIII. 三学会会合の報告

- ・学会名称検討委員会の報告を受け、日本病態栄養学会の清野裕先生、日本臨床栄養学会の菅野義彦先生に「日本栄養治療学会」の方向で進んでいることをお伝えした旨を報告された。
- ・第 26 回日本病態栄養学会年次学術集会にて、合同シンポジウムを開催したことが報告された。また第 38 回学術集会でも、日本病態栄養学会と合同シンポジウムを開催することが報告された。
- ・日本臨床栄養代謝学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会合同で、「看護関連施設基準・食事療養等の実際」の内容の見直しや、新たな治療食の加算について検討するための、治療食見直しに関する三学会合同委員会が開催されたことが報告された。

## IX. 若手理事候補者について

比企理事長より、3 部会、JSPEN-U45 から複数名を推薦いただき、学会での活動状況を考慮し、以下 4 名を若手理事候補者としたことが報告された。

種別	氏名(敬称略)	所属	職種
学術評議員	奥川 喜永	三重大学医学部附属病院 ゲノム医療部	医師
学術評議員	堤 理恵	徳島大学 ヘルスバイオサイエンス研究部実践栄養学分野	管理栄養士
学術評議員	永野 彩乃	西宮協立脳神経外科病院 看護部	看護師
代議員	光永 幸代	神奈川県立がんセンター 歯科口腔外科	歯科医師

## X. 監事の選出について

定款第 4 章第 16 条に基づき、田妻 進監事と花崎和弘監事の 2 名が任期満了となる。比企理事長より、花崎和弘氏(再任)と福島亮治氏の 2 名を監事候補者に選任したい旨が報告され、全会一致で承認された。

## XI. 特任顧問の選出について

比企理事長より、平井敏弘氏が第 10 回定時社員総会終了をもって特任顧問の職を退任することが報告された。また、平田公一氏(再任)と佐々木雅也氏の 2 名を特任顧問として選任したい旨が報告され、全会一致で承認された。

## XII. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 審議事項

総務委員会(飯島理事)

### ①名誉会長・名誉会員・特別会員推戴の選考にかかる内規について

本推戴選考にあたり、施行細則には具体的な記載はなく文書化はされていないため、推戴に伴う条件について内規を制定することが承認された。内規案については、次期総務委員会にて作成し、次回以降の理事会に提出することが報告された。

### ②定款施行細則以外の休会申請について

対象者 9 名の休会申請理由が提出され、審議の結果、今回の申請について承認することとした。

#### 将来構想委員会 未来研究プロジェクト（鍋谷理事）

##### ①NCD 関連施設の登録費用と、ESPEN の渡航費助成について

若手会員が NCD (National Clinical Database : 以下 NCD と略) に登録されているデータを利用して研究ができるよう、NCD 関連学会協議会へ加入申請する際の参加分担金 130 万円の支出が承認された。

##### ②ESPEN の渡航費助成について

海外情報の普及や振興発展のため、ESPEN や PENZA、ASPEN など海外の学会で研究発表を行うための渡航費用の一部を援助するための費用として、年間 300 万円の支出が承認された。各学会の開催時期が異なるため、具体的な選考基準については、未来研究プロジェクトで審議の上、次回以降の理事会に提出することが確認された。

##### ③国内施設研修支援制度について

臨床栄養学に従事する若手医療従事者の活性化のため、栄養治療を最前線で行っている施設に 1 週間程度、見学・診療体験できるような国内施設研修支援制度の設立を検討していることが確認された。各施設の規程も確認されたため、併せて将来構想委員会で検討していくことが確認された。

#### 教育委員会（千葉理事）

##### ①各種教育セミナーの補助金について

現地開催を望む声も多くあることから、オンライン開催を併用したハイブリット開催を実施するための補助金 200 万円の支出が承認された。

##### ②e-ラーニングによるセミナーについて

プログラムで進むセミナーについては、e-ラーニングシステムを構築し受講する運用を検討している旨が確認された。

#### 認定・資格制度委員会（NST 専門療法士認定制度）（福島副理事長）

##### ①NST 専門療法士書類審査合格者の取り扱いについて

NST 専門療法士書類審査合格者の取り扱いについて、昨今の情勢を踏まえ臨床実地修練修了証と症例報告書の提出は免除し、6 年目以降は取得単位 30 単位を提出する規程とすることが承認された。

##### ②2023 年度以降の認定医・認定歯科医認定試験書類審査合格者の扱いについて

認定医・認定歯科医認定試験にて不合格となった場合、書類審査合格者としての取り扱いがなかったため、5 年間の有効期限内で書類審査が免除されるよう認定医・認定歯科医制度規程を変更することが承認された。なお同規程は、2023 年度以降の不合格者に適応することが確認された。

##### ③認定歯科医制度施行細則（案）の制定と資格停止条項の規定について

認定歯科医制度施行細則案が提出され、認定医制度と同様に、資格復活および停止の条項を制定することが承認された。

### XⅢ. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 報告事項

#### 総務委員会（飯島理事）

##### ①新規入会キャンペーンの報告

新規入会キャンペーンにて、計 680 名の新規入会があり、平均年齢 35 歳、20 代から 40 代の入会が全体の 90%であったことが報告された。

#### 支部統括委員会（三原理事）

##### ①2022 年度支部学術集会収支報告

2022 年度中に開催された各支部学術集会(7 支部)の収支報告がされた。本部が提供するプラットフォームを利用した支部においては黒字となっているため、今後 WEB 運用においては全ての支部がプラットフォームを利用できるよう統括していくことが報告された。また準備金 100 万円の運用については、支部統括委員会内規でのみ確認している事項であるため、明文化した規程を作成し、次回以降の理事会に提出する旨が確認された。

##### ②2023 年度支部学術集会大会長について

2023 年度支部学術集会(8 支部)の概要が報告された。なお支部学術集会準備金については、2022 年度同様、支部学術集会終了後に全額返金する運用とすることが確認された。

- ・ 第 15 回北海道支部学術集会：2023 年 8 月 26 日  
会長 澤田篤史(北海道医療大学)
- ・ 第 9 回東北支部学術集会：2023 年 9 月 2 日  
会長 海野倫明(東北大学大学院)
- ・ 第 9 回関越支部学術集会：2022 年 12 月 18 日  
会長 佐野 渉(上都賀総合病院)
- ・ 第 14 回首都圏支部学術集会：2023 年 5 月 27 日  
会長 宮澤 靖(東京医科大学病院)
- ・ 第 17 回中部支部学術集会：2023 年 7 月 22 日  
会長 森 直治(愛知医科大学 緩和・支持医療学)
- ・ 第 15 回近畿支部学術集会：2023 年 7 月 29 日  
会長 名徳倫明(大阪大谷大学)
- ・ 第 15 回中国四国支部学術集会：2023 年 9 月 9 日  
会長 岡田憲三(市立宇和島病院)
- ・ 第 14 回九州支部学術集会：2023 年 9 月 23 日  
会長 福泉公仁隆(国立病院機構九州医療センター)

##### ③2023 年度支部学術集会運営委託先コンペティションについて

共通のプラットフォームを構築し、年間を通して 8 支部会の学術集会の運営ができることを条件に、2023 年度支部学術集会運営委託先コンペティションを実施することが報告された。

#### 認定・資格制度委員会（三原理事）

##### ①学会の認める全国学会・地方会・研究会について

・今年の学会の認める全国の学会・地方会・研究会の申請について、以下の報告がされ承認された。

5 単位：日本女性栄養・代謝学会

2 単位：TMG NST 研究会

・2023 年度以降の学会の認める全国学会・地方会・研究会のオンライン開催方法について、無料での開催は認めないことが報告された。なお周知期間も含め、半年後より運用開始することが確認された。

#### NST 委員会（中瀬理事）

##### ①NST 稼働認定施設申請について

今年の NST 稼働施設認定審査について以下の報告がされ承認された。

(1) 新規：申請 15 施設、認定 15 施設

(2) 更新：申請対象 395 施設、更新認定 393 施設

#### 新医師・歯科医師セミナーWG（小山理事）

##### ①2022 年度の NST 医師・歯科医師教育セミナーについて

2022 年 7 月と 11 月に、JSPEN と日本外科代謝栄養学会の共催で開催された NST 医師・歯科医師教育セミナーについて、「栄養サポートチーム加算の施設基準要件である専任医師の 10 時間以上の研修」が満たされていないのではないかと厚生労働省より連絡があった旨が報告された。本件調査をしたところ、質疑応答の時間を含めない場合、10 時間以上の条件を満たしておらず、現在対応策について厚生労働省と確認中である旨が報告された。

なお次回以降の同セミナーについては、新たにステージ 0 を設け、確実に 10 時間を超えるプログラムとすることが、全会一致で承認された。

#### 広報委員会（名徳理事）

##### ①学会ウェブサイトの更新について

現在のウェブサイトになって 8 年以上経過しているため、現在更新に向けて検討をしている旨が報告された。

##### ②第 31 回医学会総会のポスターについて

第 31 回日本医学会総会では展示ポスターを用いて、分科会の活動紹介をする「分科会/加盟学会展示」を幸福通り地下ギャラリーにて開催するため、広報委員会にてポスターを制作したことが報告された。

## XIV. その他

規約委員会、将来構想委員会

①理事長任期の延長について

前回の理事会の内容を踏まえ、規約委員会と将来構想委員会にて、理事長任期の延長について審議をしたことが報告された。急拡大している JSPEN の長期的な成長と安定した運営を鑑み、現在の上限 4 年の任期を、長期的な視野での 6 年の任期に変更することが賛成多数の意見となった。いつから適用するべきかが焦点となり、理事長の在職中に任期を延長することへの弊害と現在進めている運営方針を見直し、定款新旧対照表案を作成した上で、必要があれば第 10 回定時社員総会までに臨時理事会を開催し、再度検討することが確認された。

XV. 2023 年度 第 1 回定例理事会(持ち回り審議) 結果報告

代議員・学術評議員選考委員会(大石理事)

①理事会推薦による代議員審査申請について

理事会推薦による新規代議員 1 名の承認がされたことを報告された。

②学術評議員申請者の選考結果について

新規学術評議員候補者として 22 名を選考し、承認されたことが報告された。

■今後の予定について

・名称：理事予定者会議

日程：2023 年 2 月 12 日(日) 11 時～11 時 30 分(予定)

会場：AP 日本橋 6 階 A+B ルーム

・名称：第 10 回定時社員総会

日程：2023 年 2 月 12 日(日) 13 時～16 時 00 分(予定)

会場：AP 日本橋 6 階 F+G ルーム(12:30 より受付開始)

・名称：第 2 回定例理事会(新理事会)

日程：2023 年 2 月 12 日(日) 第 10 回定時社員総会終了後～30 分程度

会場：AP 日本橋 6 階 A+B ルーム

以上

2023 年 1 月 22 日(日)